

生涯学習概論Ⅰ				単位数	2単位
授業コード	17000	科目ナンバリング	540Z0-1000-x2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	松橋 義樹				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
社会の様々な場面で多様な学習者への学習支援に携わる上での基本的資質・素養を身に付けるため、生涯学習の理念、社会教育の意義と展開、生涯学習社会の実現における学校・家庭・地域の役割分担と連携・協働のあり方について講義します。					
アクティブラーニングの実施内容		発見学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	1. 生涯学習の理念の歴史的・国際的動向について説明することができる。			知識・技能	
2	2. 社会教育の意義と展開について説明することができる。			知識・技能	
3	生涯学習社会の実現のための学校・家庭・地域の役割分担と連携・協働のあり方について考察することができる。			思考・判断・表現力	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	学期末レポート（50%）			1／2／3	
2	中間レポート（25%）			1／2	
3	毎回の授業終了時に提出するコメント（25%）			1／2	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
第1回 教育と学習の多様性					
事前学修	事前学習（2時間）にかんしては、一つ前の回の授業終了時にあらかじめ出題する課題について、考察した内容を整理してください。				
事後学修	事後学習（2時間）にかんしては、毎回の授業の内容を、これからの社会における多様な学習者の学習支援へどのように反映させればよいのか考察してください。				
第2回 教育と学習の関係					
事前学修					
事後学修					
第3回 「生涯学習」という言葉					
事前学修					
事後学修					
第4回 生涯学習の理念（1）：生涯教育論の登場					
事前学修					
事後学修					
第5回 生涯学習の理念（2）：生涯教育論の変容					
事前学修					
事後学修					

第6回 生涯学習の理念（３）：生涯教育と生涯学習の関係		
事前学修		
事後学修		
第7回 日本における生涯学習（１）：学歴社会と生涯学習社会		
事前学修		
事後学修		
第8回 日本における生涯学習（２）：青少年教育と生涯学習支援		
事前学修		
事後学修		
第9回 日本における生涯学習（３）：成人教育と生涯学習支援		
事前学修		
事後学修		
第10回 社会教育の定義		
事前学修		
事後学修		
第11回 社会教育の特徴		
事前学修		
事後学修		
第12回 生涯学習と社会教育		
事前学修		
事後学修		
第13回 学校教育と社会教育		
事前学修		
事後学修		
第14回 学校・家庭・地域の連携・協働の意義と生涯学習		
事前学修		
事後学修		
第15回 学校・家庭・地域の連携・協働の方向性と生涯学習		
事前学修		
事後学修		

生涯学習概論ⅠⅠ				単位数	2単位
授業コード	17010	科目ナンバリング	540Z0-1000-x2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	西井 麻美				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
国際社会の動向をふまえながら、生涯学習に関する施策・取り組みについて考察する。近年、UNESCOやOECDなどの国際機関やサミットなど様々な国際会議において、生涯学習をめぐる議論や施策が展開されている。先進国のみならず、発展途上国や中進国における課題にも目をむけながら、総合的に生涯学習について考える。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	生涯学習の本質について説明し記述することができる。			知識・技能	
2	持続可能な社会について主権者として人権の基礎的判断ができる。			思考・判断・表現力	
3	生涯学習の国内外の動向について解説できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	受講態度・発表（試験）50%			1／2	
2	課題提出50%			3	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 オリエンテーション					
事前学修	参考事例などを随時紹介するので、授業外学習として、それらについてさらに調べて要点をまとめること。			約120分	
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分	
2 持続可能な社会への志向					
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。			約120分	
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分	
3 国際社会における持続発展教育の提案と展開					
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。			約120分	
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分	
4 日本における持続発展教育政策					
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。			約120分	
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分	
5 グローバリゼーションと生涯学習					
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。			約120分	
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分	

6 異文化理解の生涯学習		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
7 社会課題を捉える目を育てる：文化リテラシー		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
8 持続可能な社会における人権教育		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
9 様々なつながりから生涯学習を考える		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
10 環境と自分とのつながり		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
11 岡山での国際的教育活動		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
12 生涯学習政策の動向		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
13 若者の生涯学習を考える（１）現状と課題		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
14 若者の生涯学習を考える（２）大学生にとっての生涯学習		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
15 まとめ		
事前学修	これまでの授業を振り返る。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分

試験等
課題提出
試験のフィードバックの方法
留意点について解説する。（資料提示等）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
＜必携書＞
『ESDがグローバル社会の未来を拓くーSDGsの実現をめざして』西井麻美・池田満之・治部眞里・白砂伸夫編著、ミネルバ書房、2020年
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に逐次指示する
オフィスアワー
授業終了後（長時間の相談が必要な場合は、日時を打ち合わせる）
連絡先
マナバ確定後、連絡用スレッドをマナバに立てる。
留意事項
マナバフォリオを活用する。本授業は、社会教育主事課程の科目として、シラバスを文部科学省に提出しているため、提出している内容で作成している。

生涯学習支援論I			単位数		2単位
授業コード	17060	科目ナンバリング	540Z0-1000-x2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	原 明子				
時間割備考	8/18～19、25～26				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
本授業では、持続可能な社会を築くために必要な生涯学習の考え方にに基づき、学習者の多様な特性に応じた学習支援について学びます。学習支援の理論だけでなく現場職員の話を聞くなどして実際を知るとともに、授業を通して参加型学習とファシリテーション技法を体験的に学び、実践できる基礎的な力をつけます。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	1. 学習者の多様な特性に応じた学習支援に関する知識及び実際の現場を経験し、多様な学習者の特性に応じた学習支援のあり方について自分の考えを述べることができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	2. 効果的な学習支援方法としての参加型学習プログラムの編成およびファシリテーション技法の基礎を習得し、学習プログラムを企画することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	振り返りシート、レポートの記述 50%			1／2	
2	授業への参加度、発表内容 50%			1／2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
岡山市のESD専従職員、ESDコーディネーターとして、学校や公民館、市民団体、企業など多様な主体の学びと実践をサポートした経験を生かして、持続可能な社会づくりの視点を取り入れた生涯学習の実践事例とその支援のあり方を紹介する。 参加体験型学習の手法で授業を行い、受講者が参加型学習を体験、実習できるようにする。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 オリエンテーション、持続可能な社会づくりにおける生涯学習					
事前学修	生涯学習が行われている場所を訪問し、どのような施設でどのような人が何のために利用していたか、A41枚にまとめておく。			2時間	
事後学修					
2 学習支援の実際（公民館訪問）					
事前学修					
事後学修					
学習支援の考え方（学習者の多様な特性）					
事前学修					
事後学修					
4 学習支援の実際（岡山県生涯学習センター等での講座受講報告）					
事前学修					
事後学修	集中講義1日目（4コマ分）の要点と学んだことをレポートし、提出する。			1時間	
5 学習支援の考え方（学習支援者の役割）					
事前学修	自分が企画したい参加型学習講座のテーマとその理由を考えてくる。			30分	
事後学修					

6 学種支援に必要な技能		
事前学修		
事後学修		
7 学習プログラムのしくみと構造		
事前学修		
事後学修		
8 学習プログラムの企画・立案		
事前学修		
事後学修	参加型学習講座の企画書を書いてくる。	3 時間
9 参加型学習の進め方		
事前学修		
事後学修		
10 ワークショップとは		
事前学修		
事後学修		
11 ファシリテーションとは		
事前学修		
事後学修		
12 参加型学習とファシリテーションの実際		
事前学修		
事後学修	集中講義 3 日目（4 コマ分）の要点と学んだことをレポートし、自分の企画書を修正する。	2 時間
13 参加型学習とファシリテーション演習（前半グループの発表）		
事前学修		
事後学修		
14 参加型学習とファシリテーション演習（後半グループの発表）		
事前学修		
事後学修		
15 ふりかえり、まとめ、レポート作成		
事前学修		
事後学修	全ての授業を通して学んだことをレポートし、最終企画書とともに提出する。	2 時間

試験等
学習プログラム企画発表と全授業を通してのレポート
試験のフィードバックの方法
企画書とレポートに対するコメントを返す。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
使用しない
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし
オフィスアワー
質問は授業後またはメールで受け付ける（メールアドレスは初回授業時に提示）
連絡先
s8325@m.ndsu.ac.jp meikohara15@gmail.com 080-3873-5626
留意事項

生涯学習支援論Ⅱ				単位数	2単位
授業コード	17070	科目ナンバリング	540Z0-2000-x2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	三浦 隆志				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
現在、生涯学習に対する期待は高い。人生100年時代と言われて久しいが、リスクリングと呼ばれるような大人の学び直しや小中高等学校での「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」での探究学習は、生涯学習への橋渡しの観点やその学びを踏まえた内容の充実が求められている。本授業では、生涯学習について、これまでの自らの学習経験と関連付けながら、学びを幅広い視点から捉え直し、学習者の多様な特性に応じた学習支援に関する知識及び技能を習得することを目指します。具体的には、ワークショップや参加型学習、ファシリテーションの技法について基本的な知識や技能を学び、実践を体験します。つまり、理論と実践の往還によって、生涯学習のプログラムを作成する活動を通じて実践的に学ぶ場を用意します。特に、インストラクショナルデザインの理論や演習、エンゲージメントについて学びます。学生の主体的な参加を必要とします。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	幅広い視点から生涯学習支援を捉え、学習者の多様な特性に応じた学習支援に関する知識及び技能を理解し、説明することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
2	現状の学習者が抱える課題の把握や分析ができるようになる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
3	生涯学習支援のプログラムを設計・構築する方法やコミュニケーションスキルを学び、得られた知識・技能を活用することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	生涯学習支援の観点から、学習者が自主的・自発的な学びを促すような支援やコーディネートすることができるようになる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業態度とともに、通常の授業の中や授業後にまとめられる成果物、振り返りシート（70%）			1／2／3／4	
2	期末レポート（授業総括レポート）（30%）			1／2／3／4	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
中学校・高等学校の社会科、地歴公民科の教師として30年以上、教壇に立ってきた。教科指導とともに、「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発に関わってkきた。近年では教育工学や学習理論の研究を通じて大学から社会に繋がる学びについて研究してきた。また、この10数年は、NPO法人等のメンバーとして岡山県内外で様々なワークショップを行っている。小中高等学校生から社会人までその範囲は広い。様々な形で生涯学習支援に取り組んできた実務経験を活かし、生涯学習支援の現場で社会教育主事に必要な実務上の知識とスキルの伝授と指導を行う。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
第1回（講義）オリエンテーション&社会教育士の資格取得における「生涯学習支援」について。					
事前学修	事前に配布する「社会教育士」の資格取得に関する資料を読んで参加すること。				30分程度が必要で す。
事後学修	今期の「生涯学習支援Ⅱ」の授業で何を学ぶかについてアウトプットできる。				30分程度が必要。
第2回（講義・演習）生涯学習について、日本人がどのように考えているかを知る。特に、内閣府の「生涯学習に関する世論調査」を分析して整理する。					
事前学修	第2回（講義・演習）事前に配布された内閣府の「生涯学習に関する世論調査」に目を通して、特徴や気になる点についてまとめ て授業に参加する。				30分～1時間程度が必 要。
事後学修	教員の説明だけでなく、グループワーク等の活動を通じて、生涯学習の現状についてまとめることができる。				30分から1時間程度が 必要。
第3回（講義・演習）生涯学習社会が構築されなかで、生涯学習支援の意義と課題について学ぶ。					
事前学修	あらかじめ、1991（平成3）年中央教育審議会答申「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」を読んで要点をまとめ てから授業に参加する。				1時間程度が必要。
事後学修	生涯学習社会を構築するうえで、生涯学習支援の意義と課題をまとめる。				30分程度
第4回（講義・演習）実際の生涯学習や生涯学習支援に様子について学ぶ。具体的には、井原市で展開されている生涯学習の内容や生涯学習支援の在り方について取り 上げます。					
事前学修	井原市が作成したリーフレットや井原市の「第3次 生涯学習 基本構想・基本計画」を読んで、ポイントをまとめて授業に参加 する。				30分～1時間程度が必 要。
事後学修	井原市の生涯学習の内容をまとめる。				30分程度が必要。
第5回（演習・演習）大学を中心とした高等教育におけるサービス・ラーニングについて学ぶ。					
事前学修	事前に配布する「高等教育におけるサービス・ラーニング」に関する論文を読み、要点をまとめて参加する。				30分から1時間程度が 必要。
事後学修	サービス・ラーニングの具体例について調べてまとめる。				1時間程度が必要。

第6回（講義・演習）生涯学習支援をする科学的、構造的、汎用性がある学習方法について学ぶ①～インストラクショナルデザインについて理解する		
事前学修	事前配布するインストラクショナルデザインの論文を読んで参加する。	30分程度が必要。
事後学修	インストラクショナルデザインがなぜ注目され、採用されるのかをまとめる。	30分～1時間程度が必要。
第7回（講義・演習）生涯学習支援をする科学的、構造的、汎用性がある学習方法について学ぶ②～「教授設計理論（学習観）」について学ぶ。		
事前学修	事前に配布する2002年鈴木克明論文を読んでポイントをまとめて参加する。	1時間程度が必要。
事後学修	3つの学習観から、モデルの研修を分析する	30分～1時間程度が必要。
第8回（講義・演習）生涯学習支援をする科学的、構造的、汎用性がある学習方法について学ぶ③～ARCSモデルを理解し、研修のアイデアを考える		
事前学修	事前に配布したARCSモデルを援用した実践事例を読んでポイントをまとめて参加する。	1時間程度が必要。
事後学修	ARCSモデルを使う他の活用事例を考え、アウトプットする。	30分～1時間程度は必要。
第9回（講義・演習）生涯学習支援をする科学的、構造的、汎用性がある学習方法について学ぶ④～ARCSモデルを活用して、さらに高度な研修を考える。		
事前学修	メリルのID第一原理に関する論文を読んで、ポイントをまとめて参加する。	30分～1時間程度は必要。
事後学修	第8回の授業後に作成した課題を「下位分類・支援方略」の観点で修正してみる。	30分～1時間程度は必要。
第10回（講義・演習）生涯学習支援をする科学的、構造的、汎用性がある学習方法について学ぶ⑤～ガニエの9教授事象について理解する。		
事前学修	事前に配布したガニエの9教授事象に関する論文を読んで、ポイントをまとめて参加する	30分～1時間程度は必要。
事後学修	これまで学んだインストラクショナルデザインを使って、高度で、複雑な研修を考え、まとめる。	1時間程度は必要。
第11回（演習・演習）生涯学習支援をするうえでファシリテーションについて学ぶ①～ファシリテーションとは何か		
事前学修	ファシリテーションについて調べ、まとめて参加する。	30分～1時間程度は必要。
事後学修	実際の研修の場面で、ファシリテーションするとは、どのようなことをまとめる。	30分～1時間程度は必要。
第12回（演習・演習）生涯学習支援をするうえでファシリテーションについて学ぶ②～ファシリテーションをやってみる。		
事前学修	模擬研修での場面で、ファシリテーションすることについて考えてまとめる。	30分～1時間程度は必要。
事後学修	これまでファシリテーションについて学習したことをまとめ、ファシリテーションをするうえでどのような点に注意すればよいかをまとめる。	30分～1時間程度は必要。
第13回（講義・演習）学校教育（小中高校、大学）と生涯学習との接続において、どのような支援が必要か考える。		
事前学修	最近の学校教育で行われ、生涯学習に繋がる取組や事例を調べ、まとめる。	30分～1時間程度は必要。
事後学修	接続の在り方をまとめ、生涯学習支援を進めるうえで、何が必要かをまとめる。	30分～1時間程度が必要。
第14回（講義・演習）心理学のエンゲージメントを学び、生涯学習支援に活用する。		
事前学修	事前に配布するエンゲージメントに関する鹿毛論文を読んで、まとめる。	30分～1時間程度が必要。
事後学修	生涯学習支援を支えるにエンゲージメントの活用例をまとめる。	30分～1時間程度が必要。
第15回（講義・演習）学習の動機づけと学習の自己調整について考える。		
事前学修	事前配布するジマーマンの「学習の自己調整に関する論文を読んで参加する	30分～1時間程度が必要。
事後学修	生涯学習支援の視点で、学習の動機づけと学習の自己調整についてまとめる。	30分～1時間程度が必要。

社会教育経営論I				単位数		2単位			
授業コード		17100	科目ナンバリング		540Z0-3000-x2	開講年度学期		2025年度第1期	
担当者氏名		松橋 義樹							
時間割備考		9/1～3（予定）							
授業形態（主）		1 講義							
授業形態（副）		2 演習							
担当形態		単独							
研究分野（大学院）									
本授業の概要									
社会教育主事としての職務及び求められる資質・能力を踏まえ、「学び」の成果を戦略的な視点から、様々な主体と連携・協働を図りながら地域課題解決・まちづくり支援及び地域学校協働等の活動に繋げていくため、講義及び演習（グループワーク及びプレゼンテーション）を通して必要な知識及び技術の習得を図ります。									
アクティブラーニングの実施内容				問題解決型学習					
到達目標						対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）			
1	社会教育行政と地域活性化の関連について、複数の観点から説明することができる。					知識・技能			
2	社会教育における地域人材の育成について、具体的事例をもとにプログラムを企画することができる。					思考・判断・表現力			
3	社会教育を推進する地域ネットワークの形成について、地域の特性を踏まえながらそのプロセスを検討することができる。					思考・判断・表現力			
4	社会教育施設の経営戦略について、施設の種類に応じた戦略のポイントを説明することができる。					思考・判断・表現力			
5									
成績評価の基準						対応する到達目標の番号			
1	第5回の授業後に提出する演習成果物（25%）					1/2			
2	第10回の授業後に提出する演習成果物（25%）					3			
3	第15回の授業後に提出する演習成果物（50%）					1/2/3/4			
4									
5									
実務経験のある教員による授業科目									
実務経験の授業への活用方法									
日本語以外の言語による授業									
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間					
第1回 地域活性化に資する社会教育の役割									
事前学修	・予習として、事前に配布する資料の論点及び疑問点を整理してください。（各回につき2時間分）								
事後学修	・復習として、授業の内容が自身の日常生活及び様々な学習活動とどのように関連している（今後関連すると考えられる）のか整理してください。（各回につき2時間分）								
第2回 社会教育行政による地域活性化の取組									
事前学修									
事後学修									
第3回 社会教育における地域人材育成の視点									
事前学修									
事後学修									
第4回 社会教育におけるコーディネーターの役割									
事前学修									
事後学修									
第5回 社会教育における地域人材育成の実際									
事前学修									
事後学修									

第6回 社会教育を推進する地域ネットワークの視点		
事前学修		
事後学修		
第7回 社会教育行政とNPO・企業等との連携・協働		
事前学修		
事後学修		
第8回 家庭・学校・地域の連携・協働		
事前学修		
事後学修		
第9回 コミュニティ・スクールの実際		
事前学修		
事後学修		
第10回 地域学校協働活動の実際		
事前学修		
事後学修		
第11回 社会教育施設経営の視点		
事前学修		
事後学修		
第12回 公民館・生涯学習センター等の経営		
事前学修		
事後学修		
第13回 図書館・博物館・青少年教育施設等の経営		
事前学修		
事後学修		
第14回 社会教育施設のネットワークの実際		
事前学修		
事後学修		
第15回 社会教育行政の戦略的経営のこれから		
事前学修		
事後学修		

社会教育経営論II				単位数	2単位
授業コード	17110	科目ナンバリング	540Z0-3000-x2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	田中 純子				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
社会教育行政や社会教育施設経営の基礎となることを講義や演習をとおして理解する。社会教育経営の具体例として公民館を取り上げ、岡山市内の公民館を訪問して、公民館現場の事業や経営の実態と課題を知り、その改善計画（プロジェクト型事業）を立てる。					
アクティブラーニングの実施内容					
グループ・ワーク					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	社会教育主事としての仕事の基礎となるマネジメントの考え方と、それを基本とした事業の企画や運営の概要を説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	社会教育の現場となる公民館の経営の実態を知り、マネジメントの考え方をもとに公民館経営の具体的な改善策を企画することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	他者と対話し、知恵を出し合い、共同して物事をすすめることができる。			思考・判断・表現力／主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	振り返りシート、最終レポートの記述：50%			1／2	
2	発表内容：30%			1／2／3	
3	討議への貢献度：20%			3	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目			実務あり		
実務経験の授業への活用方法					
社会教育主事として長年、公民館に勤務し、事業を計画、実施してきた経験から、社会教育主事として必要な知識や力を伝授し、具体的な公民館経営の改善策の企画を立てるワークをつうじて学生が現場で役立つスキルを身につけられるように展開する。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間		
1. オリエンテーション、社会教育とESD・SDGs					
事前学修	ESD、SDGsとは何かについて整理して説明できるようにしておくこと				2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する				2時間
2. 社会教育行政の経営戦略					
事前学修	事前に配布する資料等を読んでおき、論点や疑問点を整理しておくこと				2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する				2時間
3. 学習課題の把握と広報戦略					
事前学修	事前に配布する資料等を読んでおき、論点や疑問点を整理しておくこと				2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する				2時間
4. 社会教育における地域人材の育成					
事前学修	事前に配布する資料等を読んでおき、論点や疑問点を整理しておくこと				2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する				2時間
5. 社会教育を推進する地域ネットワークの形成：地域・学校					
事前学修	事前に配布する資料等を読んでおき、論点や疑問点を整理しておくこと				2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する				2時間

6. 社会教育を推進する地域ネットワークの形成：企業・NPO		
事前学修	事前に配布する資料等を読んでおき、論点や疑問点を整理しておくこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間
7. 学習成果の評価と活用の実際		
事前学修	事前に配布する資料等を読んでおき、論点や疑問点を整理しておくこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間
8. 公民館経営の実際：岡山市の公民館経営・事業計画		
事前学修	事前に配布する資料等を読んでおき、論点や疑問点を整理しておくこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間
9. 公民館経営の実際：現地調査（職員）		
事前学修	事前に配布する資料等を読んでおき、現地調査で質問する項目を考え整理しておくこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間
10. 公民館経営の実際：現地調査（市民）		
事前学修	事前に配布する資料等を読んでおき、現地調査で質問する項目を考え整理しておくこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間
11. 公民館経営の実際：改善計画の立て方		
事前学修	第9回・第10回の現地調査からわかった公民館事業の特徴（充実しているところ、課題）を整理して授業に臨むこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間
12. 公民館の改善計画の立案：企画		
事前学修	第11回の授業においてグループで話し合ったことをもとに公民事業の企画案をたてて授業に臨むこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間
13. 公民館の改善計画の立案：企画・発表準備		
事前学修	第12回の授業で立てた企画のプレゼン案を作成して授業に臨むこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間
14. 発表		
事前学修	作成した事業計画のプレゼン内容を精査し、わかりやすく時間内に発表できるようにリハーサルをして授業に臨むこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間
15. まとめ		
事前学修	第14回の発表を振り返り、内容やプレゼンの仕方について改善点を整理しておくこと	2時間
事後学修	授業で指示した課題についてまとめmanaba folioで提出する	2時間

試験等
公民館事業の改善計画の提出と最終レポートの提出
試験のフィードバックの方法
発表した改善計画について学外の実践者を交えて振り返り、その結果をmmanaba folioに掲示する。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
使用しない
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
＜参考書等＞ ・毎回の授業でプリントを配布します。 ・『社会教育経営論』浅井経子編、2020、ぎょうせい ・『社会教育経営のフロンティア』田中雅文・中村香編、2019、玉川大学出版部
オフィスアワー
質問は授業後またはメールで受け付けます。（メールアドレスは初回授業時に提示）
連絡先
junkotnk@nifty.com
留意事項
公民館での現地調査のために岡山市内の公民館で授業を行うことがあります。本科目は水曜日に設定されていますが、岡山市内の公民館は水曜日が休館日のため、公民館での授業は土曜日に実施することになります。その日程は未定ですが、受講生と当該公民館のスケジュールを調整して決定します。 グループでの作業が授業時間内で終わらない場合は、授業外での学習（作業）が発生する可能性があります。

社会教育実践演習				単位数	4単位
授業コード	17130	科目ナンバリング	540Z0-3400-x4	開講年度学期	2025年度第1期、2025年度第2期
担当者氏名	成清 仁士、西井 麻美、Jason Williams、池田 満之				
時間割備考	8月（詳細は実習担当者から通知します）				
授業形態（主）	2 演習				
授業形態（副）					
担当形態	オムニバス				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
グローバルな視点を持つとともに地域の実情に即した探求をめざし、地域で取り組まれている活動や社会教育に係る事業などを調べ、実際に地域に出向いて視察することを通して、具体的な地域課題等を題材とした社会教育事業の立案等に向けた演習を行う。 さらに、社会教育施設等における実習を行う。					
アクティブラーニングの実施内容		体験学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	グローバルな社会の動向を理解した上で学習活動のあり方を検討することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
2	学習課題に結びついている地域課題・生活課題について地域の実情に応じて理解することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
3	社会教育主事の職務を遂行するにあたり求められる実践的資質および能力の基礎を培うことができる。			思考・判断・表現力／主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	講義に関するレポート 20%			1／2	
2	視察研修に関するレポート課題 30%			2／3	
3	演習・実習に基づくレポート 30%			2／3	
4	グループ調査研究発表 20%			2／3	
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
（池田）岡山ユネスコ協会理事として25年以上、環境カウンセラーとして20年以上、公民館を事務局とした岡山市京山地区ESD・SDGs推進協議会会長等として15年以上、社会教育施設で社会教育主事等と社会教育に取り組んできた実務経験を活かし、現場で社会教育主事に必要な実務上の知識とスキルの伝授と体験指導並びに効果的な現場実習のためのコーディネート等を行います。現場体験の中で社会教育主事や社会教育士の現場実務を体感してもらえるようにします。特に気づきを促し、受講生が主体的に学び、力をつけていく教育を行います。 （成清）倉敷において住民主体のNPO活動に参画して日本の伝統的な住まいを再評価し受け継いでいくための事業に携わってきた経験や、中心市街地活性化を中心としたまちづくり分野で地域資源の発掘・発信や活性化事業の企画立案・発掘・調整業務に携わっていた経験から、まちづくりに関わる様々な要素を評価する視点を多角的に取り上げ、学生に実践的な問題解決への取り組みを促す。					
日本語以外の言語による授業		英語（Williams）			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
第1回 講義 今日の社会と社会教育・生涯学習（オリエンテーション）（成清・池田） 第2回 演習 持続可能な社会に向けた社会教育・生涯学習（成清） 第3回 講義 Internationalization of Japanese Society（ジェイソン・ウィリアムズ）					
事前学修	第1回 シラバスを確認し、授業概要を把握しておく。 第2回 前回の授業内容を振り返っておく。適宜、持続可能な社会について学んできた内容を振り返ったり、新聞・WEB・参考文献等に目を通しておく。 第3回 前回の授業内容を振り返っておく。			第1回	約30分
				第2回	約30分
				第3回	約30分
事後学修	第1回 授業内容を振り返り、要点を整理する。実習先調整のための質問事項に回答する。 第2回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。 第3回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。			第1回	約60分
				第2回	約60分
				第3回	約60分
第4回 講義 Internationalization and Education・Educational Issues（ジェイソン・ウィリアムズ） 第5回 講義 地域活動の実践事例を学ぶ（成清） 第6回 講義 地域活動の実践事例の方法論（成清）					
事前学修	第4回 前回の授業内容を振り返っておく。 第5回 前回の授業内容を振り返っておく。 適宜、情報検索する。 第6回 前回の授業内容を振り返っておく。 適宜、情報検索する。			第4回	約30分
				第5回	約30分
				第6回	約30分
事後学修	第4回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。 第5回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。 第6回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。			第4回	約60分
				第5回	約60分
				第6回	約60分
第7回 演習 地域活動の実践事例の視察研修（成清） 第8回 演習 地域活動の実践事例に係る意見交換（成清） 第9回 講義・演習 資料収集について（レファレンスについて）（成清）					
事前学修	第7回 前回の授業内容を振り返っておく。適宜、情報検索する。 第8回 前回の授業内容を振り返っておく。適宜、情報検索する。 第9回 前回の授業内容を振り返っておく。適宜、情報検索する。			第7回	約30分
				第8回	約30分
				第9回	約30分
事後学修	第7回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。 第8回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。 第9回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。			第7回	約60分
				第8回	約60分
				第9回	約60分

第10回 講義 Internationalization and Societal Issues (ジェイソン・ウィリアムズ)			
第11回 講義 Internationalization and Societal Support (ジェイソン・ウィリアムズ)			
第12回 実習 公民館等での実習のためのオリエンテーション(池田)			
事前学修	第10回	前回の授業内容を振り返っておく。	第10回 約30分
	第11回	前回の授業内容を振り返っておく。	第11回 約30分
	第12回	前回の授業内容を振り返っておく。	第12回 約30分
事後学修	第10回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第10回 約60分
	第11回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第11回 約60分
	第12回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。現場実習に向けた準備を行う。	第12回 約60分
第13回 実習 公民館等での実習に必要な基礎知識とスキルを学ぶ(池田)			
第14回 実習 公民館等で社会教育主事が行う社会教育のプランニングの現場実習(池田)			
第15回 実習 公民館等で社会教育主事が行う企画会合のコーディネート現場実習(池田)			
事前学修	第13回	前回の実習内容を振り返っておく。	第13回 約30分
	第14回	前回の実習内容を振り返っておく。	第14回 約30分
	第15回	前回の実習内容を振り返っておく。	第15回 約30分
事後学修	第13回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第13回 約60分
	第14回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。日誌を作成・提出する。	第14回 約60分
	第15回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第15回 約60分
第16回 実習 公民館等で社会教育主事が行う企画会合のファシリテートの現場実習(池田)			
第17回 実習 公民館等での社会教育事業の企画のまとめと準備に向けた現場実習(池田)			
第18回 実習 公民館等での社会教育事業の準備会議の進行に関する現場実習(池田)			
事前学修	第16回	前回の実習内容を振り返っておく。	第16回 約30分
	第17回	前回の実習内容を振り返っておく。	第17回 約30分
	第18回	前回の実習内容を振り返っておく。	第18回 約30分
事後学修	第16回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第16回 約60分
	第17回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。日誌を作成・提出する。	第17回 約60分
	第18回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第18回 約60分
第19回 実習 公民館等での社会教育事業の準備会議のとりまとめに関する現場実習(池田)			
第20回 実習 公民館等での社会教育事業の実施に必要な資料作成等に関する現場実習(池田)			
第21回 実習 公民館等での社会教育事業の開始前の準備に関する現場実習(池田)			
事前学修	第19回	前回の実習内容を振り返っておく。	第19回 約30分
	第20回	前回の実習内容を振り返っておく。	第20回 約30分
	第21回	前回の実習内容を振り返っておく。	第21回 約30分
事後学修	第19回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第19回 約60分
	第20回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。日誌を作成・提出する。	第20回 約60分
	第21回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第21回 約60分
第22回 実習 公民館等での社会教育事業本番における社会教育主事の役割の実習(前半)(池田)			
第23回 実習 公民館等での社会教育事業本番における社会教育主事の役割の実習(後半)(池田)			
第24回 実習 公民館等での社会教育事業の実施後の処理に関する現場実習(池田)			
事前学修	第22回	前回の実習内容を振り返っておく。	第22回 約30分
	第23回	前回の実習内容を振り返っておく。	第23回 約30分
	第24回	前回の実習内容を振り返っておく。	第24回 約30分
事後学修	第22回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第22回 約60分
	第23回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。日誌を作成・提出する。	第23回 約60分
	第24回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第24回 約60分
第25回 実習 公民館等での実習を現場の社会教育主事との対話でふりかえる(池田)			
第26回 実習 公民館等での実習から学び得た社会教育主事の職務についての総括(池田)			
第27回 講義 2期オリエンテーション・地域プロジェクトの企画づくりを学ぶ(成清)			
事前学修	第25回	前回の実習内容を振り返っておく。	第25回 約30分
	第26回	前回の実習内容を振り返っておく。	第26回 約30分
	第27回	シラバスを確認し、授業概要を把握しておく。1期の授業内容を振り返っておく。	第27回 約30分
事後学修	第25回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第25回 約60分
	第26回	実習内容を振り返り、自らの考えを整理する。日誌を作成・提出する。実習のまとめを作成・提出する。	第26回 約60分
	第27回	授業内容を振り返り、要点を整理する。	第27回 約60分
第28回 講義 学生主体の地域プロジェクトの実践事例から企画づくりの戦略を学ぶ(成清)			
第29回 演習 学生主体の地域プロジェクトの実践事例の視察研修(成清)			
第30回 演習 学生主体の地域プロジェクトの実践事例に係る意見交換(成清)			
事前学修	第28回	前回の授業内容を振り返っておく。 適宜、情報検索する。	第28回 約30分
	第29回	前回の授業内容を振り返っておく。 適宜、情報検索する。	第29回 約30分
	第30回	前回の授業内容を振り返っておく。 適宜、情報検索する。	第30回 約30分
事後学修	第28回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第28回 約60分
	第29回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第29回 約60分
	第30回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第30回 約60分
第31回 講義・演習 視察研修のまとめ(成清)			
第32回 演習 グループ調査研究発表の準備1: 討議(西井)			
第33回 演習 グループ調査研究発表の準備2: スライド作成(西井)			
事前学修	第31回	前回の授業内容を振り返っておく。 適宜、情報検索する。	第31回 約30分
	第32回	前回の授業内容を振り返っておく。	第32回 約30分
	第33回	前回の授業内容を振り返っておく。	第33回 約30分
事後学修	第31回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第31回 約60分
	第32回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第32回 約60分
	第33回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第33回 約60分
第34回 演習 グループ調査研究発表の準備3: レジューメ作成(西井)			
第35回 演習 研究発表1: 1~4(西井)			
第36回 演習 研究発表2: 3~4(西井)			
事前学修	第34回	前回の授業内容を振り返っておく。	第34回 約30分
	第35回	前回の授業内容を振り返っておく。	第35回 約30分
	第36回	前回の授業内容を振り返っておく。	第36回 約30分
事後学修	第34回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第34回 約60分
	第35回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第35回 約60分
	第36回	授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第36回 約60分

第37回 演習 研究発表3：5～6（西井）		
第38回 演習 まとめ（西井）		
事前学修	第37回 前回の授業内容を振り返っておく。 第38回 前回の授業内容を振り返っておく。	第37回 約30分 第38回 約30分
事後学修	第37回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。 第38回 授業内容を振り返り、自らの考えを整理する。	第37回 約60分 第38回 約60分
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
試験等		
レポート、発表		
試験のフィードバックの方法		
留意点について解説する（資料提示等）。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし		
オフィスアワー		
月曜3限（13:00～14:30）ノートルダムホール東棟355ND研究室（成清） また、授業終了時に教室で質問等を受け付ける。 さらに、メールにて質問等を受け付ける。		
連絡先		
成清：narikiyo@m.ndsu.ac.jp Williams：williams@m.ndsu.ac.jp 池田：ikd@mxt.mesh.ne.jp 西井：マナバに連絡用スレッドを立てる		
留意事項		
・ 本科目は社会教育主事の任用資格を得るために開講される科目である。 ・ 実習1単位（池田担当）が含まれます。 ・ 西井担当は、オンデマンド（マナバフォリオ利用）とする場合があります。また、グループ調査研究発表は、単独調査発表に変更する場合があります。		